

1 研究主題

【主題】持続可能な未来社会の創り手を育て、
ウェルビーイングの向上を目指す留萌の小中学校づくり
【副題】校長のリーダーシップを基盤とした、未来志向の学校経営を図る校長の手立て

2 研究推進の概要

(1) 第73回留萌管内小中学校長会教育研究協議会【令和7年8月1日（金）】

- ・全連小プレ提案 <提言者> 建山 和則（天塩小）
- ・女性管理職全道プレ提言 <提言者> 佐藤美智子（苫前中）
- ・研究の内容及び趣旨説明 <研究部長> 西山 智章（羽幌中）
- ・研究部提言発表 <研究部員> 小林 剛（天塩中）
- ・研究協議（グループワーク）＊全会員の作成レポートを基にした実践交流
- ・講評・助言 北海道教育委員会留萌教育局義務教育指導監 村元 隆一 様

(2) 令和7年度研究紀要「和心一統」の編集及び発行

- ・令和7年度「研究の手引き」
- ・研究協議会概要（成果と課題）
- ・提言発表資料
- ・実践レポート（全会員）
- ・全道、全国研究大会参加報告
- ・教育経営研究会概要

3 研究の成果と課題

(1) 研究の成果

- ① 多くの学校にて、研究の視点としている校長の「リーダーシップ」及び「マネジメント」を主とした学校経営がなされていることがグループワークにて交流され、確認することができた。また、研究部提言では、2つの視点を明確にした実践を提示することができたことについて、会員からの高い評価を得ることができた。
- ② 令和6年度からこれまで、2つの視点と5つのテーマをクロスさせた内容で研究を進めてきたが、昨今の教育課題及び各学校の実態から、研究の取組として5つのテーマに区別する必要性が薄れてきたことが分かった。次年度は校長の在り方、つまり、リーダーシップとマネジメントを焦点にしていくことを改めて明確にできた。

(2) 次年度への課題

- ① 教職員の主体性や協働性を引き出すべく、目的に応じた校長のリーダーシップの在り方を追究するとともに、学校経営のマネジメントを図る上で、教頭やミドルリーダーとの役割を明確化しながら、学校経営を図っていくための研究内容に取り組んでいく。
- ② 会員個々が自身の学校経営に強い理念と自信をもって実践に取り組み、その成果や課題を分かりやすく明確なレポートとして表現できるようにしなければならない。研究部からの取組内容やレポート作成要領などについて、より明瞭で理解しやすく提示できるよう心がけたい。

1 研究主題

【主題】 持続可能な未来社会の創り手を育て、
ウェルビーイングの向上を目指す留萌の小中学校づくり
【副題】 校長のリーダーシップを基盤とした、未来志向の学校経営を図る校長の手立て

2 研究主題設定の趣旨

令和6年度から継続して「教育振興基本計画（第4期）」を基本としつつ「学習指導要領」及び「令和の日本型学校教育」の具現化を研究のコンセプトとして主題・副題を設定した。

また、すでに次期学習指導要領「論点整理」が提示されたこともあり、管内小中学校において、『現行学習指導要領のゴールにどこまでたどり着くことができたのであろうか？』を実践型研究の指標としている。さらに、「持続可能な社会の創り手を育てる学校づくり」「ウェルビーイングの向上を目指す学校づくり」への手立てを追究することが私たち校長にとって急務の課題となっていることから、本研究コンセプトの2つの柱としたものである。

3 研究内容

(1) 基本方針

- ① 「教育振興基本計画（第4期）」の具現化に伴い、校長としての「リーダーシップ」及び「マネジメント」の在り方を探るべく、教育研究協議会にて、提言発表及びグループワークを行う。
- ② 研究部でまとめた、年度ごとの成果と課題を基に、各校長は翌年の実践に生かす。

(2) 研究期間

教育振興基本計画（第4期）はR5～R9のため、R9までは教育研究協議会を核として、成果と課題を振り返り、翌年度の取組を修正することを原則とする。ただし、この先の教育情勢によっては、主題や研究内容の大幅な変更の可能性もある。

4 研究推進計画

4月	研究部から「研究の手引き（研究内容、実践レポート作成要領）」を全会員に提示
5月	会員は研究コンセプトに応じた実践レポート作成を開始
7月	レポート集約（会員→研究部）
8月	第74回留萌管内小中学校長会教育研究協議会の実施（8月4日）
12月	研究のまとめ（成果と課題）を追加したレポートの集約（会員→研究部）
2月	年度のまとめ（研究の成果と課題、次年度に向けて）

5 研究組織

- (1) 留萌管内小中学校長会研究部-----研究協議会を核とした全会員による研究活動
- (2) 市町村校長会研究部 -----管内校長会研究部と各市町村研究部との連携
- (3) 留萌管内教育研究団体連絡協議会 ---管内校長会と管内各研究団体等との連携
- (4) 全連小、道中プロジェクト委員会（提言発表準備チーム：研究部との連携）

6 その他

研究のまとめとして年度末に研究収録「和心一統」を発行する。（Web 編集）